

港区当知学区

震災避難行動マップ

【凡例】

- 指定避難所：家屋の倒壊などにより被害を受けた方、あるいは被害を受けるおそれのある方を一時的に滞在させるための施設
- 広域避難場所：大災害が発生した場合、身を守るために必要な面積を有した場所
- 津波避難ビル
- 地域防災協力事業所
- 避難経路の例
- AED
- 地下式給水栓
- 住宅密集地域
- 狭小道路

指定避難所一覧

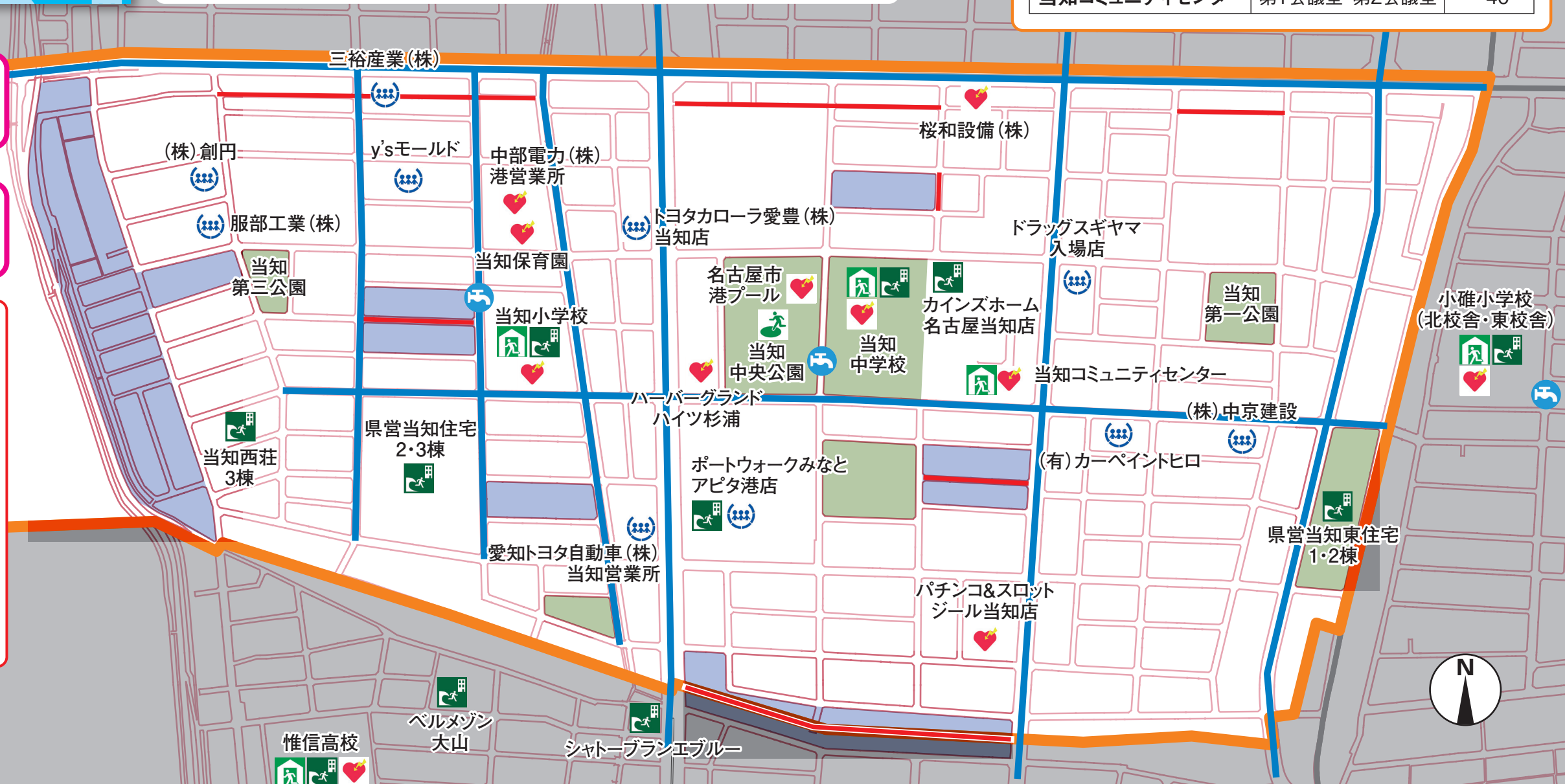
施設名称	避難場所	収容人数
当知小学校	体育館・プレイルーム	357
当知中学校	体育館・格技場	665
当知コミュニティセンター	第1会議室・第2会議室	40

わが家の津波避難先

わが家の津波避難先

津波避難ビル

施設名称・マンション名	収容人数
当知小学校	1,306
当知中学校	1,071
当知西荘3棟	427
ユニー(株) ポートウォークみなとアピタ港店	30,000
県営当知東住宅1棟	960
県営当知東住宅2棟	960
県営当知住宅2棟	1,520
県営当知住宅3棟	1,660
カインズホーム名古屋当知店	8,100



わが家で津波避難を考えよう

- 大津波警報発令時にはすぐ避難！ 徒歩で避難！車での避難はしない！
- すぐ避難できるようにするための備えが大切。家族一人ひとりの非常持出袋を事前準備！すぐ持ち出せる場所に置いておく！
- 津波避難先は、万一の住民殺到に備えあらかじめ2か所以上を考えておく！



地域防災協力事業所一覧

事業所名	協力内容
トヨタカローラ愛豊(株)当知店	一時的な避難場所の提供(駐車場、ショールーム、会議室)、資機材の提供(ジャッキ、ロープ等)
愛知トヨタ自動車(株)当知営業所	一時的な避難場所の提供(駐車場、ショールーム、会議室)、資機材の提供(ジャッキ、ロープ等)
ユニー(株)ポートウォークみなとアピタ港店	臨時避難場所の提供(東側平面駐車場)
三裕産業(株)	災害救助サービスカー及び運転人員の提供、救助用資器材の貸出
ドラッグスギヤマ入場店	屋外駐車場の一時避難場所、集合場所としての提供、その他可能な範囲における支援協力
(株)創円	救助活動資機材(フォークリフト)の貸出及び操作人員の提供、工具類(ハンマー等)の提供、一時的な避難場所(屋外駐車場)の提供等
服部工業(株)	救助活動資機材(フォークリフト)の貸出及び操作人員の提供、工具類(ハンマー等)の提供、一時的な避難場所(屋外駐車場)の提供等
(有)カーペイントヒロ	救助活動等(ジャッキ、高速カッター、電動のこぎり等)の貸出及び操作人員の提供、資器材の輸送用車両及び操作人員の提供、一時的な避難場所(駐車場)の提供等
y'sモールド	生活用物資(水、ティッシュ、簡易マスク等)の貸出、救助活動等の資機材(ハンマー、脚立、消火器等)の貸出、一時的な避難場所(駐車場)提供等
(株)中京建設	建設資材(ショベルカー)及び操作人員の貸出、大型10tダンプ及び操作人員の貸出、一時的な避難場所(駐車場)の提供

地震発生! 災害時の対応

港区当知学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、震度6強の非常に激しい揺れが想定されます。**自分の身を確実に守る**ため、日頃から**家具の転倒防止**などの耐震対策に努めましょう。

また、津波が他の地区よりも早く到来します。浸水が2.0mから3.0mに及ぶ箇所もあります。**名古屋港への最短津波(30cm)到達時間は96分**と予測されており、遡上はその後始まります。この時間を最大限に使い津波避難ビルへ避難しましょう。

また、液状化現象も起きる可能性も高い地区です。建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出して通ることができなくなります。これらを踏まえ、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

身の安全の確保

- ◎倒れそうなタンスなどの家具、ガラス戸から離れる
- ◎机の下に隠れて、低い姿勢で身を守る
- ◎安全に消せる場合は火を消す
- ◎可能であれば、扉を開けて出口を確保する
- ◎屋外にいる場合は、建物など倒壊の危険がある場所からすぐ離れる



避難の際は、近隣で助けを求める方がいないか、大きな声で確認しながら避難しましょう!

- ◎家族、隣近所への声かけ、安全・安否の確認、情報交換
- ◎家屋、近所の被害状況、危険度の確認
- ◎火元を消す・ブレーカーを落とす
- ◎ガス・水道の元栓を閉める
- ◎扉を開けて出入口の確保
- ◎テレビやラジオ等で正しい情報を収集

同じ階の住民の無事を確認できたら、上階・下階の住民の方が無事かどうかの確認、避難支援を!

火災などの危険がない場合、3階以上にお住まいの方は、一人で避難できない方を助けたら「在宅避難」を!

津波発生時の地域での声かけ・避難支援

隣近所など地域での「声かけ」と「避難支援」が大事な命を救います。

地震の揺れがおさまったあとは、**地域の皆さんで声かけ**をし、いち早く避難行動が取れるよう協力しましょう。

また、日頃から一人で避難できない方(高齢者・障がいのある方など)を把握しておきましょう。

情報の入手や判断の難しい方

(例えばこんな方)
目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障がいのある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など



移動が難しい方

(例えばこんな方)
普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど



お住まいの方

- ① 町内の組単位で「声かけ」して無事を確認しあう
- ② 無事が確認できた住民同士で、無事が確認できないお宅へ「大きな声で」声かけを繰り返す
- ③ 一人で避難できない方を助けながら、近くの津波避難ビルへ避難する
- ④ 津波到達予測時刻の30分前までに避難完了する

集合住宅にお住まいの方

- ① お住まいの階ごとに「声かけ」して無事を確認しあう
- ② 無事が確認できた住民同士で、無事が確認できないお宅へ「大きな声で」声かけを繰り返す
- ③ 一人で避難できない方を助けながら、近くの津波避難ビルへ避難する
- ④ 津波到達予測時刻の30分前までに避難完了する

津波避難ビルを 目指して 避難開始

- ◎逃げ遅れないように早めの避難開始
- ◎隣近所へ大きな声で声かけしながら、あらかじめ決めた津波避難ビルへ避難
- ◎持てる量の非常持出袋を持って避難
- ◎落下物など周囲の危険に気をつけて避難

災害の危険解消

自宅での滞在が可能か



津波警報解除 避難勧告解除

地震発生!

揺れがおさまった

津波から安全に避難するための 5つのポイント

① 揺れが収まったら高台へ。時間がなければ津波避難ビルへ避難!



② 隣近所へ声をかけ 原則徒歩で避難!



③ 高齢者や障がいのある方などの避難支援を!



④ 引き返さない! 安全確認が済むまで避難継続を!



⑤ 海岸や川沿いには絶対近づかない!

